

**製品名: 癌胎児性抗原 CEA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM84991**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC 1:50-1:200
分子量	/

**抗原情報**

遺伝子名	Carcino Embryonic Antigen CEA
別名	CEACAM5; CEA; Carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 5; Carcinoembryonic antigen; CEA; Meconium antigen 100; CD66e
遺伝子 ID	1048.0
SwissProt ID	P06731
免疫原	癌胎児性抗原の合成ペプチド

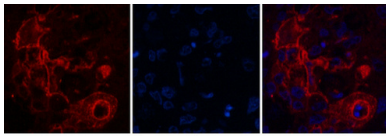
**背景**

癌胎児性抗原（CEA）は、CD66e または CEACAM5 としても知られる、180~200 kDa の細胞表面糖タンパク質で、腸癌やその他の腫瘍において発現が上昇しています。CEA は細胞接着を媒介しますが、その生物学的活性についてはほとんど解明されていません。

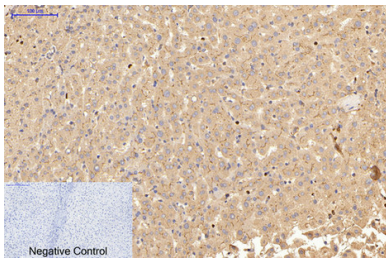
## 研究分野

アポトーシス

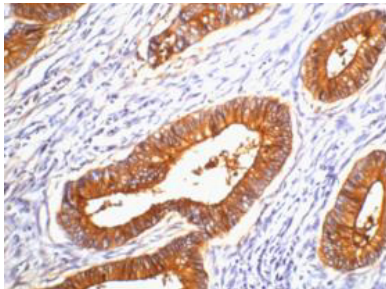
## 画像データ



癌胎児性抗原 CEA 抗体（赤）および DAPI（青）を使用した、ヒト肺癌組織中の癌胎児性抗原 CEA の免疫蛍光分析。



癌胎児性抗原 CEA 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。抗原回復には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



癌胎児性抗原（CEA）抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を使用した。